

令和6年度 野球指導者研究協議会（第34回監督研修会）

日時 令和6年11月15日（金）
場所 金沢学院大学グリーンフィールドⅢ（午前）、石川県青少年総合センター（午後）
対象 石川県内の高校野球指導者と中学野球指導者
内容 **午前の部 【金沢学院大学グリーンフィールドⅢ】**

◇技術指導講習会（実技講習、9:30～11:30）

『バッティング練習法』

・講師：堀井 哲也 氏（慶應義塾大学野球部監督）

午後の部 【石川県青少年総合研修センター】

◇指導者研修会（講演、13:30～14:30）

『指導者としての心がけ』

・講師：堀井 哲也 氏（慶應義塾大学野球部監督）

◇監督会議（14:45～15:30）

- ・強化派遣事業報告
- ・今年度の各種大会を振り返って
- ・その他、質疑応答

野球指導者研究協議会が行われました。午前中は金沢学院大学附属の野球部員らを交えた実技講習でした。かかとを付けた状態から下半身を使うこと。バッティングで大事なことは「好球必打」であり、夢中で投手にむかっていくこと。バットの規格が変わり飛距離が出にくくなったことは、良い投手からの打球だと思い打席に立つ心構えを持つことなど、野球部員らと対話をしながらの説明をいただきました。

午後からは、大学と社会人の監督経験からの内容でした。小中学校から野球を続けてきた選手は、高校や大学で野球を始めた選手に比べて、準備・グラウンド整備・マナー・挨拶面ができていた点を挙げられました。社会人野球を23年携わり業務指示で取り組んできたあとの大学野球は、18歳から22歳という不安定な年齢であり、内容に疑問が沸いてきたこと。これまでが未熟にも見える経験であったのかというお話もされました。選手に自主性や主体性を取らせるため堀井先生、自らがトイレ掃除に取り組むなどの体験談もお話しされました。



実技講習『バッティング練習法』
＝金沢学院大学グリーンフィールドⅢ



講演会『指導者としての心がけ』
＝石川県青少年総合研修センター